

第 21 年度 事業報告のまとめ

山科醍醐こどものひろばの活動は、「やりたい」「できる」からはじまり、子どもや地域、社会とともにカタチ作られ、継続してきました。そして何気なく「顔を出し」ともに時間を過ごすという日常とあわせて人間浴を実現してきたのだと思います。しかしながら、各事業は続きながらも、年々新しい事業やメンバーでのチャレンジなどは少なくなり、関わるメンバーも固定化してきたことから、新しいチャレンジや出会い・交流が少なくなってきました。

このような状況のなかではじまった2019年度ですが、各事業をみると、わんぱくクラブではより大学生が中心の企画運営となったり、まちたんけんのガイドブックはその原稿のほとんどを子どもたちが描いたものだったり、いろんなチャレンジもあり、新しい試みや、こどもたちの「やりたい」「できる」が存分に発揮された部分もあった一年でした。

事務局としては、育児休業をしていただくことや会計の整理をしていただくことで、より働きやすい環境づくりに取り組んだことや、過年度のミスをあらためて確認することができその修正にも取り組んでいただきました。目に見える成果ではありませんが、また少し組織としての基盤が強化されたと考えています。

小さくもよい変化が生まれつつある一方で、台風も多く、暖冬、年度末には新型コロナウイルス感染症の影響といったことにより、活動が実施できないという状況も発生しました。結果として、まとめの活動や発表・公演が多い3月に活動ができず予定を変更したり、中止の判断をせざるを得なかったり、いままでどおりに活動を進められないことも多かった一年となりました。人と人が集まり、交流することが前提であった活動が、その前提を覆されることが起きたときに、あらためて子どもとともに育つことはどういうことなのか、そのための環境とは、私たちはこれからどんな活動をしていく必要があるのかを突きつけられたと感じています。この一年の目標のひとつに、「子どもが過ごす場へ活動を届け直す」というものがありましたが、年度最後に、この意味をあらためて問われた気がしています。

このような現状のなか、委託事業、助成事業が多い運営形態だけでは、子どもたちとの活動を継続できないのではないかとすることもみえてきています。だからこそ組織の基盤の強化への取り組みが不十分に終わった今年度は大きな課題を残したとも言えます。社会環境が変わり、これまで通りが難しくなるなか、小さくとも子どもたちに届く、ともにできる活動ができる基盤や事業にこれから変わっていく時期だと考え、これまでの約40年の活動を見直し、新たな展開を検討していきたいと考えています。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第 21 年度通常総会】

日時・場所 2019年5月26日(日) 13:00~16:00 本願寺山科別院 多目的会館

審議事項 第1号議案 議事録署名人選出の件

第2号議案 第20年度事業経過報告承認の件

第3号議案 第20年度事業活動決算承認の件

第4号議案 第21年度事業計画承認の件

第5号議案 第21年度事業活動予算承認の件

第6号議案 第21年度・第22年度役員選出の件

【理事会】

理事10人、監事2人で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」にて開催

開催日 2019年 4月21日(日)、 2019年8月1日(木)、2019年12月22日(日)

2020年 3月29日(日)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月1回程実施し、業務遂行にあたった。

第21年度 各事業報告

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算 額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	演劇部ぼっぴ・こーん公演	—	—	—	—	—	—
子どもが 自ら創る 体験活動 事業	Jr. キャンプ 活動が実施できず、今年度 で終了。	—	—	—	—	11	—
	こどもフェスタ 当法人主催の子ども主体の 「祭典」を実施した。	4月	本願寺 山科別院	150	地域の 子どもと大人 750人	—	—
	わんぱくクラブ 幼児・低学年の子ども達を対 象に、舞台鑑賞や野外活動 を実施する。	通年	地域一円	10	地域の子ども 30人	345	241
	山科醍醐こどもの創作劇(演 劇部ぼっぴ・こーん) 小学生から大人までの参加 者が創る創作劇の実施や、 ワークショップを行う。	通年	社会福祉法人 同和園他	2	地域の子どもと 大人 のべ30人	624	544
	町たんけん 地域を知り、その中の出会い から人と人がつながり、より 良い地域になることを目指し た。山科かるたや、ガイドブ ックを普及させ、有効活用で きるように、小学校を巻き込 んだ活動を行った。 ※山科“きずな”支援事業補 助金	通年(小学生と の町たんけん活 動は夏～春)	地域一円	10人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	小学生17名 だいき山科町 たんけん(ガイ ドブック)を児 童・区民約750 0名に配布 学校訪問参加 児童数約100人	543 (助成金150)	666 (助成金280)
子育てサ ポート事 業	げんきスポット0-3(ぜろさん) 未就園児を持つ親と、その子 ども達のサポートを常設会場 「げんきスポット」にて実施す る。屋根のある公園を目指 す。 自由来館尾サロン 講習会の開催 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜 日	げんきスポット	8	地域の 子どもと大人 のべ700人	6807 (委託金 6219)	6649 (委託金 6366)
	つどいの広場施設を飛び出 して ①あそびっこクラブ 未就園児を持つ親その子ど も達サポートを野外や体育 館で活動。 ②出張広場 未就園児を持つ親と、その子 ども達のサポートを常設会場 を飛び出して行うサロン ③地域とつながりを持って おでかけ活動 ※京都市の委託事業	通年	地域一円				
	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、 学習機会の少ない子ども、ま た経済的等の理由で体験活 動の機会がない子どもへの 個別(生活・学習・余暇)支援 事業。	通年	地域一円	40人	地域の子ども: のべ200人	—	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子ども や、学習機会の少ない子ど も、また経済的等の理由で 体験活動の機会がない子ど もへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。 ※京都地域創造基金事業指 定助成事業	通年	地域一円	40人	子ども: のべ295人	4500 (助成金 4000)	1337 (助成金 1127)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算 額 (千円)	決算額 (千円)
子育てサ ポート事 業	ひとり親家庭等への生活・学 習・居場所サポート事業(子 どもの貧困対策事業) 伏見区醍醐・小栗栖地域を 中心に、小学校高学年の子 どもとその家族へのサポート を行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	40人	子ども: のべ295人 保護者: のべ14人	8350 (委託金 8350)	8350 (委託金 8350)
ボランティ アサポー ト事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事 業へのコーディネートを行 なった。	通年	当法人事務所	4	-	-	-
	講師派遣・インターンシッ プ 受入事業 当法人スタッフの講師派遣 及び当法人におけるインター ン希望者の受入を行う。	通年	地域一円	4	-	1,200	462
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終え た高校生等の居場所とボラ ンティア推進事業。	通年	地域一円	5	のべ60人	-	-
広報・出 版事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。 ※共同募金	季刊	-	2	1,000部を4回	-	-
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつう しん」の発行。 イベントや活動の参加募集チ ラシ、外部団体のチラシなど も発送。	月刊	-	-	150部を12回	-	-
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのない まち」の頒布を通じて、ひろ ばの広報や社会への啓発を 進める	通年	-	-	-	-	-
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で 取り組む支援者のアクション サポートBOOK」の頒布、活 用。	通年	-	-	-	-	-
	ホームページ 当法人におけるホームペー ジの定期的な更新情報の発 信及び、基本情報の公開を 行う。	通年	-	-	-	-	-
	ネットワー クづくり事 業	分野連携ボランティアネット ワーク事業 当法人登録ボランティアと子 ども分野の活動団体とのネッ トワークづくりを行う。	通年	-	-	-	-
ネットワー クづくり事 業	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催: 社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支 援センター	2	-	-	-
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所と して山科で子育てサークル や子育て支援をしている諸 団体との交流を行う。子育て 支援サロンを開催する。	5月 ～ 3月 年間10回	社会福祉協議 会他	13 (ひろば内3)	のべ300	-	-

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算 額 (千円)	決算額 (千円)
ネットワー クづくり事 業	遊びのアウトリーチ事業 小学校の放課後に、大学生 や地域の方と遊びを通して、 関わる機会をつくる。	通年	地域小学校	3	のべ30	37	37
	京都市子どもの居場所づくり アドバイザー事業 子どもの居場所づくりをして いる個人・団体への相談・研 修を行なう。 ※京都市の委託事業	通年	京都市内	—	—	3463 (委託金 3463)	3462 (委託金 3462)
	中3勉強会(おぐりす・だい ご・醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学 習支援プログラム。	通年	醍醐事務所 トトハウス 醍醐支所	30人	3人 3人 15人	2706 (委託金2706)	2706 (委託金2706)
	企業との連携 企業からのボランティア体験 の受け入れや、イベントでの ボランティア呼びかけなど。	通年	—	2	—	—	—